

# 令和5年度あしたちの家 運営推進会議 議 事 録

開催日時	令和5年 6月21日(水)午後 1:30 より 3:00 迄
場 所	小規模多機能 ゆったりあしたち 会議室
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真庭市高齢者支援課 担当者様</li> <li>・第三者委員</li> <li>・ご家族</li> <li>・ご家族</li> <li>・ご家族</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員(GH管理者)</li> <li>・職員(GH副管理)</li> <li>・職員(小多機管理)</li> <li>・職員(GH職員)</li> </ul>
議 題	<p>運営推進会議とは説明、及び自己紹介。</p> <p>①真庭市高齢者支援課から情報提供</p> <p>② グループ運営状況の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご入居者様推移状況(入退所・平均介護度等)</li> <li>・感染症対応の経過。</li> <li>・R4年度活動内容。</li> <li>・令和5年度活動予定、</li> <li>・事故発生件数報告。</li> <li>・身体拘束・虐待防止に関して取り組み説明等)</li> </ul> <p>③ 意見等、会議 他</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式次第 ・年間計画表 ・BCP業務分類表(感染対応)・事故発生件数報告まとめ(R3～R5年分) ・令和5年度運営推進委員名簿 ・身体拘束委員会、虐待防止委員会会議録</li> </ul>
会議内容	<p>○運営推進会議とは何を目的に、どのような内容を報告、意見をもらう会議なのかを説明行う。コロナ感染対応にて3年間実施が行えていなかった為、委員構成など1から開始といなる事を踏まえ説明し、依頼した委員含め参加者の自己紹介の実施を行う</p> <p>①真庭市高齢者支援課から情報提供</p> <p>この度は特別な情報提供はない。5月よりコロナ感染症対応が感染症区分5類へ変更となり、マスクの着用などは自由化となっているが、福祉施設等はまだ継続して警戒をしてもらい対応をお願いしたい。また施設毎の面会の解除など聞かが施設毎に対応は様々なので、どのように対応しているのか伺いたい。</p> <p>回答「以前までは、窓越し面会を主として行っていたが、6月1日より対面式の面会を全面的に解除し、外出外泊も解除にて対応としている。真庭市内在住のご家族は検温・問診表のみにて3名まで20分時間制限にて対応。市外・県外のご家族に関しては施設用意の抗原検査にて検査陰性後、3名20分の面会対応とする。また、外出、外泊には帰所後48時間の距離を置いた生活(集団レク非参加・食事場所の変更等)を行い、経過観察の協力をもらい対応。ご利用者の生活に関する外出などは以前から継続して実施行い、行く場所、時間帯など工夫し行っている。</p> <p>② グループ運営状況の説明</p> <p>○ご入居者様推移状況(入退所・平均介護度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GHあしたちの家の入居状況としては18名満床にて運営継続中。平均介護度は令和5年度4半期で2.5にて推移しており、R3～R4年も2.3～2.5となっている。</li> <li>小規模多機能ゆったりあしたちでは、平均介護は現在8名の登録利用者がおり、平均2.1の介護度となっている。</li> <li>・入退所状況の説明</li> </ul> <p>あしたちの家では、令和3～5年にて施設での看取り対応実施者が7名あり、それに伴い入所の動きがあった。また、病院などからの終末期のみ受け入れ依頼などもあり、対応している。最近の入退所では、R5.4に97歳女性の看取り支援を行い、その後82歳男性の入所を受けている。</p> <p>ゆったりあしたちでは、3月～6月に掛けて4名の入院、死亡、入所があり、登録人数の減少となっている。年間通して10～12名の登録にて推移している。</p>

ご家族より質問。

「現在、申し込み待機者は何名程度いらっしゃいますか。」

回答「現在25名程度の申し込みの受付をしてが、全てがすぐの入所希望ではなく、他施設との重複の申込の方や先を見ての申込の方などもある。また、入所の案内も申込順ではあるが、緊急性や申込家族の介護負担など、担当ケアマネからの情報をなど鑑みて前後し案内している。

#### ○感染症対応の経過報告

・R2年以後、コロナウイルス感染対応の経過を説明行う。またR4年12月には等GHでも利用者、職員のクラスター発生があり3/2の感染発生があった事を説明、心配をお掛けした旨を謝罪する。発生時はBCP業務分類表に沿って必要業務の整理を行い対応した事を説明行う。以後対策として、保健師指導の元、感染症対応(ゾーニング、物品管理、一次予防対応)を徹底し行い、1月2月には全職員を対象に隔離対応実施訓練などを行った。また、コロナ以外の季節性の感染に関しては、手洗の実施研修を行い、啓発ポスターの掲示、アルコール設置箇所の増加など行っている。

#### ○R4年度年間活動報告、R5年度活動報告

・配付している年間計画表を基に、行事予定、研修予定、交流会予定、防災訓練予定、感染症対応(肺レントゲン等)予定を説明行う。防災に関しては災害、火災に分け行い。研修はコンプラ研修とキャリアアップ研修の実施する事を説明行う。

家族・地域交流行事に関して、感染症の懸念などにて今年度の実施は控えた方がよいなどの意見が無いが、委員に確認を行う。市内の感染症状況によるとは思うが、実施する事は問題ないとの返答あり。

#### ・令和5年度年間目標、令和4年度実施目標の報告

あしたちの家は、令和5年度の年間目標は「報連相の再徹底」とし、設定とした理由として令和5年4月より、各ユニット役割分けを行い、効率化と必要なサービスの向上に取り組んでいる事を説明する。明日香ユニットは概ね介護度が高いか、認知症の重度の方にて編成し、身体介護・認知症ケアを中心にて支援を行う。英賀ユニットは、介護度の軽度な方にて編成し、認知症予防や身体機能維持など中止として生きがい支援を行う。また、職員の勤務編成もユニット単位の縦割りでは無く、ホーム全体にて勤務を組み、全ての職員が全ての利用者へ関わる事を行えるよう対応とした。その為、再度報連相の徹底にて今迄以上に情報の共有を行い、事故の予防、ケアの充実を目的に設定とした。ゆったりあしたちは、「ケアの統一性を図る」とし、設定した理由として在宅の方は日々状況が変化し、情報が流動するが、それらの対応する為ケアプランに基づいた支援を昨年目標にあげ、取り組み実施が行えた。それを受け、今年度は実施する業務、ケアを職員間にて統一し質の向上を目指すとして設定した。

#### ○事故発生数状況報告○

・配付事故発生件数まとめに基づき発生状況の説明行う。R4年度が23件と増加しており、特に内出血の報告が多く挙がっている。背景としては、身体介護の増加に合わせ、コロナ渦にて外出や面会が行えないご利用者のストレスにて今までになかった不穏行動の発生もあり、見守り対応が増加し、身体介護の祭にゆとりを持っても介助が行えていない状況の増加など事故報告書から鑑みれた。再発防止対応として、介護技術研修の実施などを定期的に行った。

#### ・真庭市担当者様からの評価

事故の発生はどうしても起きてしまう事だと思います。起きてしまう事だが、その後再発防止に向けてどのように対応し、発生を抑えていくかが大切かと思っておりますので、今度ともよろしく願います。

#### ○身体拘束委員会、高齢者虐待防止委員会活動報告。

・身体拘束廃止の取り組みとして、定期的研修の実施に加え、身体拘束の取り組みに関するアンケートを全職員を対象に行い、意識調査と取り組み課題の見える化を行っている。また、現在身体拘束には該当しないが、居室掃き出し窓を施錠対応している利用者の施錠の必要性の評価など毎月のユニット会議にて行っている。

・高齢者虐待に関する取り組みに関して、定期での会議開催の実施、親指を使わない介護の研修の実施、啓発ポスターを居室への掲示を行う。

### ③意見等、会議他

#### ・ご家族より評価

今年度より、ユニット毎の介護度分けや、職員の両ユニットでの勤務などの取り組みは良い事だなと感じました。関わる職員が多ければ、事故防止、虐待の抑制、緊急時の対応など、あらゆる面で有効な事となると思いました。また、施設の特徴として過去には入院していた父がホームに帰ってきた途端に笑って会話している様子などを見ると、これが施設の力だなと感動した思い出があります。

#### ・ご家族より評価

看取りの実績の話を聞いて、うちの母も認知症でお世話になって、ベッドからこけて骨折した事があった時に、本人は骨折を忘れて動くから病院からはずっと付き添いの依頼があって、仕事もある中で本当に辛くてどうしようかとなっていて中で、施設が治療中での受け入れと、肺がんが発見した際も看取りを視野に入れて話をしてくれた事で本当に救われた気持ちになりました。

#### ・連絡事項

小規模多機能ゆったりあしたちのパンフレットを一新する事。

あしたりグループの新サービスとして保険外サービス(外出支援、泊りサービス)などを紹介する。今年度にて正式に提案行う事とする。

会議内容